混合　【あとがき】

 　　Puney　Loran Seapon

　はい。どうも、Puney Loran Seapon です。こんな形であとがきを出すとか申し訳ありません。何せ、三話分のあとがきを書くので、量がちょっと尋常じゃないレベルになってしまいました。反則かな？　とも思いましたが、ストーリーに直接関わりの無い話ですし、それなら仕方ないけどいいだろう、と思っていただけると助かります。

　この『混合』が完結するのに、およそ一年ほどかかりました。元々上下だけになるはずだったのですが、思いもかけず『混合（中）』が入ることになり、書いた私としても少々驚いているところではあります。

　どうして『混合（中）』が入ることになったのか、という話は後に置いておくとして、まずは『混合』という話を書こうと思ったきっかけから話していきましょう。

　一番の要因は、ニコニコ動画にアップされている『架空デュエル動画』でしょうか？　見た人もいるのではないかと思います。見たことない人は是非ご覧下さい。カードゲームに興味がある方なら、きっと楽しめることでしょう。

　あれを見て、私も『クロスオーバー』というものをやりたい、と思ったわけです。

　元々、『クロスオーバー』というジャンルをやりたい、という目的で『弾丸』『変態』『恋愛』『友達』という話を書いたわけではありません。まあそれぞれの作品を見てもらえばお分かりになるかとは思いますが、一体どこにクロスオーバーさせられる要素があるのか、と問われれば、作者としても答えるのに些か詰まってしまいます。『弾丸』と『友達』はまあいいとして、『変態』と『恋愛』はそもそも登場人物が同じなので問題は無い。

が、どうしても『弾丸』『友達』と『変態』『恋愛』をクロスオーバーさせるのは設定的に無理があるのではないか、という疑問は私にもありました。

まあ？　ですが？　世の中見てみると、案外とんでもないものをコラボさせている作品は結構ありましたし？　私の作品間の問題なんて些細な問題でしょう、ということで、『混合（上）』を書き始めた訳です。

書いてみると色々と悪戯出来るもので、一番楽しめたのは作者である私ではないでしょうか？　直接名前は出てきていませんし、そもそも名前なんて考えてもいないのですが、時折出てくるモブキャラは、実は今までの作品に登場したモブキャラがほどんどだったりします。例えば、『混合（上）』の弾丸(？)の冒頭に出てくる、コンビニにいた親子は『恋愛』の後日談で康介を『見ちゃ駄目よ』と言っていた親子です。

他にもちょくちょく出ていたりするので、よろしければ想像して頂けると作者としても書いた甲斐があったなぁ、というものでしょう。

文芸部で出した、初めての続きもので、所々ミスもありましたが、こういったモブ等の遊びの部分も含めて楽しんでいただければ幸いです。

　一応、この『混合』を最後に、弾丸の主人公、勇気達、響香又は響花達の物語は幕を下ろす予定です。今後登場することは……無いとは言い切れません。もしかすると、遊びの一環として他の作品のモブとして登場させるかも。弾丸の主人公や康介、藤二はともかくとしても、勇気やまゆみ、響香又は響花は登場させやすそうなキャラクターですし、そもそも折角作ったキャラクターを、その作品だけに閉じ込めておくのも勿体無いですしね。

　しかしあれです。『混合（下）』のあらすじ解説で勇気は「あとがきで一ページ使った～」とか言っていましたが、気が付けば二ページ使っています。案山子の夏号では無く、こっちにアップするということで、他にも書きたいことを書いた結果、こんなことになってしまいました。やっぱりページ制限って悪だわ。

　いや勿論、限られたページ数の中で話を終わらせることは非常に大切なことなのは重々分かってはいるんですけどね。でもそんな制限とっぱらって書くのは気持ちが――すみません。話が逸れました。

　最後になりましたが、『混合（下）』のあらすじ解説でまゆみも言っていた通り、ここまでお付き合いいただき、感謝いたします。

　本当に、ありがとうございました。

　では、次は製本版の作品……もしくは、案山子の冬号で会いましょう。